

CERAMIC
GLASS
METAL

工艺学科





「工芸」という言葉は、多様な広がりを持ったモノ作りの単語として私達は捉えています。工・芸との融和すなわち手と技・感性の融和と考えます。陶 ガラス 金属の実材を使い思考し、手でモノを作りあげること。それは、人間の本能的かつ知的行為であり感動を得るところです。今日のデジタル化の時代にあって対極とも思われる「手でモノを作る」行為 そこから人間の営みを実感することができ、そして仮想造形との違いが明らかになるでしょう。

何を作るかは全くの自由。現代社会の中にあって、自分の作るべきものを見だし、実材と向き合う。教員は十分に経験を積んだ実作者であり、将来の競争相手となるであろう背中を勇気づけ強く押す事でしょう。主体的能動的である人達とともに学び、新しい意識から生まれる「モノ作り」を共に押し進めることを強く望んでいます。

多摩美術大学 工芸学科

CERAMIC

陶

陶という素材は、何かを表現することも、器を作ることもできますし、
まだまだいろいろなことに応用できます。

陶プログラムの50年に及ぶカリキュラムの蓄積が、
4年間で「陶でつくる力」を鍛え、「強い表現力」を磨きます。



GLASS

ガラス

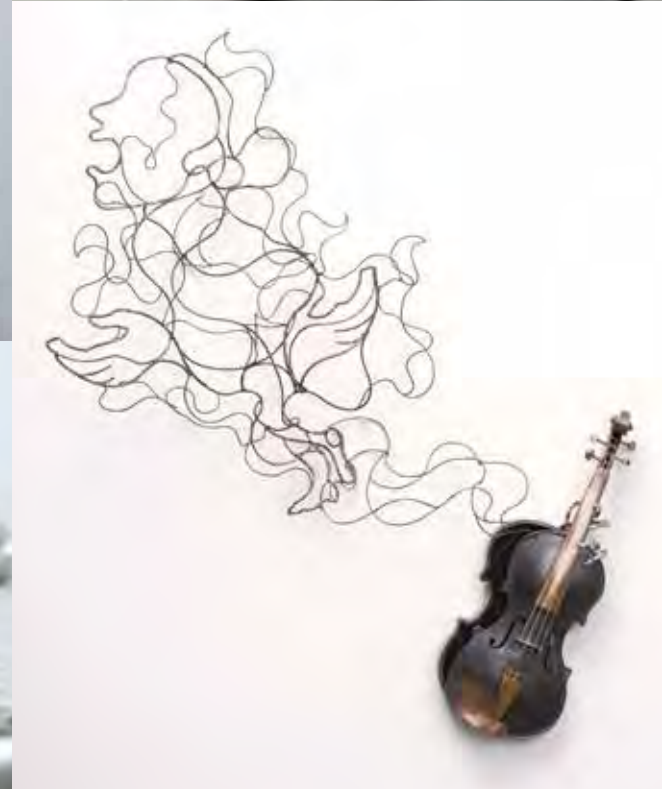
溶けて熱いガラスを竿に巻く、型に入れて鋳込む、削ったり磨き上げたり、その無限の特性で表現力を追求します。



METAL

金属

熱や力を加えることで様々な形や色に変化する金属。
そこには新たな自分を探り見つける世界が広がっています。
自分の「もの」、見つけよう！



大学院

Master Course

専門家の育成

大学院は博士前期課程（修士）2年と博士後期課程の3年からなる。自らの研究目標に向かって実制作を充実させる事は言うまでもなく、大学院では実制作に対応する論理的解析と共に将来を見据え積極的に社会との関わりを求め、制作研究の活動を続けてゆくための基盤を確立する。

授業風景

Class scenery



◆野焼き



◆デザイン実習



◆学外実習



◆陶実習



◆ガラス実習



◆特別講義
(デモンストレーション)



◆金属実習



◆講評会



◆ロクロ課題

卒業生の活動

Career

受験生・後輩への
メッセージ

作家活動（陶芸家）

前野 達郎

(陶プログラム 2004年卒)



学生生活の4年間は、自由に使える最後の時間です。自分のやりたい事をやって欲しい。やりたい事がわからなければ、興味のあることを何でもやって欲しい。そうするとやりたい事がわかると思います。楽しんで素敵な時間を過ごして下さい。



© Mitsuki Nakajima

作家活動（アーティスト・陶作家）

宮下 サトシ

(陶プログラム 2016年卒)



調子が良いときも悪いときも、作品が未熟で満足がいかないときも、自分がいま生み出した作品を受け入れて、愛してあげてください。その愛情は時間をかけて強く成長し、必ず返ってきます。それが作家にできる全てです。なんちって！楽しんで頑張ってください！



TOUMEI（ガラス工房）

高橋 漠・和田 朋子

(ガラスプログラム 2009年卒)



よく学び、よく遊び、たくさんのお会いと経験をすることが学生時代にとても大切な事だと思っています。多摩美にはいる人がいて今となっては貴重な時間を過ごしました。皆さんが良い作品を作って豊かな人生を歩めるように願っています。



アートディレクター・ウェブデザイナー

大隅 圭介

(ガラスプログラム 2000年卒)



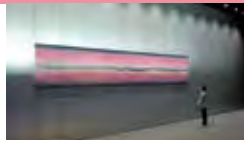
今の仕事に繋がっていることの大半は学生の頃に興味を持ち始めたことです。学生時代は引き出しをたくさん作る時期だと思うので、専攻と関係あることもないことも、とりあえず端から飽きるまでやってみたらいいんじゃないでしょうか。



株式会社織絵

草野 薫

(陶プログラム 2008年大学院卒)



ホテルや病院、複合施設などへのアートの提案、及び販売・設置をする仕事をしています。現在は2児の母でもあるのですが、現代において「ものをつくる」ということに対する真摯な模索は、生きて行く上での大きな力になると思います。

作家活動（陶作家）

林 麻依子

(陶プログラム 2012年大学院卒)



好きなこと、そして嫌いなことさえ、全てが創作の糧です。一緒に学ぶ仲間は、自分の選ばなかった可能性を見せてくれます。大学での学びを通じて、今の自身の基盤となる“らしさ”を見つけることができました。

bubun（装身具制作）

陣 めぐみ

(ガラスプログラム 2006年卒)



日々手さぐりで素材と自分とに向き合うことで、少しずつ感覚に忠実なものを作れるようになっていったと思います。興味を持ったことはとことんやってみてください。その経験が制作の礎となり作品の中に息づき続けるはずですよ。

株式会社俄

薄葉 純

(ガラスプログラム 2011年卒)



新作ジュエリーの開発を担当しています。自分にとって「ものづくり」って何だろう。学生時代、大いに悩んだことが、今は大きな力になっています。たくさん手を動かし、納得する答えを探して行ってください。

作家活動（金工・道具・装置）

永瀬 二郎

(金属プログラム 2012年卒)



特殊な技術や素材感を身につけながら、おもしろいと思うものを自分の手で形にできることが、ますます意義深くなっていると思います。役に立つかどうかはその人次第ですが、工芸学科で楽しいと感じることはどんどんやったほうが得だと思います。

うるしびと（二戸市地域おこし協力隊）

秋本 風香

(金属プログラム 2020年卒)



岩手県二戸市浄法寺町で地域おこし協力隊として漆掻き職人を行っています。多摩美程の工房を使える機会は卒業後そうそう無いと思います。学生の内にめいっぱい入り浸って、工具も工房も先生も使い倒しちゃいましょう。

株式会社クロコアートファクトリー

加賀屋 諒

(金属プログラム 2014年卒)



学生時代に得た「知識・技術・人脈」は、将来まで自分の支えとなります。学科や専攻にとらわれすぎず、新しい事を吸収することが重要です。そのためにも金属という応用性の高い素材の加工を学び、アドバンテージを得られることは、とても有意義だと思います。

有限会社 ICHI

長嶋 麻里子

(金属プログラム 2011年卒)



やりたい事はとことん挑戦して下さい。「自分は無理だ」や「不安だから」とためらい、可能性を狭めないで欲しいです。行動した上で自分をもう一度みつめること。積み重ねがいつかの自分の力へとになっていきます。

主な進路 (2016～2022年度現在)

作家活動

陶作家、ガラス作家、金属作家、画家・美術家、ジュエリーデザイナー、各種デザイナー

公務員・財団

(財)かわさき市民活動センター 三田こども文化センター、富山市役所、富士宮市立病院、北海道紋別市役所、富士宮市立病院、医療法人社団 桐和会

教育

長岡造形大学、芸術工芸高等専修学校、多摩美術大学工芸学科研究室、屋久島おおぞら高等学校

進学・留学

多摩美術大学大学院博士前期修士課程、多摩美術大学大学院博士後期課程、東京藝術大学大学院、金沢美術工芸大学大学院、九州デザイナー学院、HAL東京、代々木アニメーション学院、筑波大学大学院、ヒコ・みづのジュエリーカレッジ、茨城県立笠間陶芸大学校、富山ガラス造形研究所、明星大学（通信学部）、東京ガラス工芸研究所、国立台湾大学

主な就職先

工房 あづみ野ガラス工房、(株)猿江ガラス、HARIOランプワークファクトリー(株)、軽井沢ガラス工房
製造業（素材）HARIO(株)、(株)OOL、(株)つかもと、(株)九つ井、自家窯陶郷ガラス工房、(株)大淵銀器、(株)SGC、三協フロンテア(株)、(株)島居製缶、興亜硝子(株)、(株)北嶋製作所、丸真(株)、興亜硝子(株)
製造業（装身具・装飾品）(株)ミキモト装身具、(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ、(株)NEWART、(株)ソラ、アーツアンドクラフツ(株)、(株)金目屋、(株)桑山、(株)インク、(株)カスカ、(株)ケイ・ウノ、(株)アトリエカオル、フルテック(株)、(株)ヴァンドームヤマダ、テイクアップ、(株)貴和製作所、(株)ケイ・ウノ、(株)貴和製作所、(株)大淵銀器、(株)北嶋製作所、山崎メッキ工研(株)
製造業（その他）(株)ジーアンドシーアート、(株)フィアロコーポレーション、イケア・ジャパン(株)、(株)オリバナ、(株)ゲームフリーク、(株)パイロットコーポレーション、田島ルーフィング(株)、(株)丸昭、菅原工芸硝子(株)

工芸学科の卒業生は、工芸分野以外にもクリエイティブ分野の各方面で活躍しています。

舞台美術 (株)シミズオクト、日本ステージ(株)、(株)大澤製作所、(株)Mテック、(株)角川大映スタジオ、四季(株)
店舗・ディスプレイ・内装業 (株)テレビ東京アート、(株)トーガシ、(株)タイフーンスタジオ、(株)TOOLBOX、(株)ジールアソシエイツ、(株)泉宣宏社、(株)陶額堂
WEB制作業 (株)あとらす二十一、(株)ライフベア
広告制作業 (株)博報堂プロダクツ
映像制作業 (株)シネボーイ、(株)ダダビ、(株)中村プロダクション
ゲーム・アニメーション業 (株)コーエーテクモゲームス、(株)コーエーテクモホールディングス、(株)シャフト
その他デザイン業 イー・エム・デザイン(株)、MISHIMデザイン事務所、(株)クレオ
アパレル (株)サンヒット、(株)ヨーガンレール、(株)シーズ・ブランニング、(株)アルページュ
外衣、繊維製品製造業 (株)アプティ、(株)サンゲツ、(株)アンビデックス、(株)アイランド、ピクル(株)、丸真(株)
化粧品製造業 ELCジャパン(株)
靴・鞆・ハンドバッグ製品製造業 (株)丸昭、(株)屋靴製造所
衣服・身の回り品卸売業 (株)オカダヤ、アッシュ・ペー・フランス(株)、(株)ルアンジュ
紙・文具・卸売業 (株)世界堂、ユザワヤ商事(株)
仲介業 西村不動産(株)、(株)タカギブランニングオフィス、パーソルファクトリーパートナーズ(株)
写真・スタジオ業 (株)ブラザクリエイト
呉服・服地小売業 (株)サンヒット、(株)BANKANわものや
民営職業紹介業 (株)ワールドインテック
各種コンサルタント業 (株)アビリティ アソシエーション
画廊 (株)薔薇画廊、ギャラリーやまほん
卸売業 大一商事(株)、(株)ゲオホールディングス、丸真(株)、日本通運(株)（美術品事業部）
小売業 (株)まんだらけ、コーナン商事(株)、(株)赤ちゃん本舗
情報サービス業 (株)ネクサスウイング、fresco
その他サービス業 (株)スターキャリア、(株)タカギブランニングオフィス、ソフトバンクグループ ソフトバンククルー、(株)シー・エフ・ネット、(株)ワールドインテック、(株)アビリティ アソシエーション、飛行船ネットワーク(株)、(株)アクア・グラツィエ、(株)コンフィアック、(株)トンボ、グラススタジオコンペ、DEPU(株)（一東輪陶芸教室）(株)登利平、(株)シー・エフ・ネット（順不同）

教員紹介

Faculty

陶プログラム



教授・美術家 尹 熙倉

1985年多摩美術大学大学院修了。1995年文化庁芸術家在外研修でイギリスに一年間滞在後、翌年再渡英、レンガ工場で作品を制作。在学中より美術家として、美術館、画廊などで「陶・存在・空間」を主題に立体・平面作品の発表を重ねる。近年は建築空間への作品設置計画に多数参加。「陶で作る力。発信する力。生きる力。」



准教授・造形作家 塩谷 良太

多摩美術大学工芸学科陶プログラムで「やきもの」を経験して以来、手でものをづくり、考えることで社会と関わってきました。身体を介する造形体験は、あなたに独自の視点で世界を捉える力を与えてくれることでしょう。2011年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアで活動。既存の枠にとどまらない表現を試みている。

ガラスプログラム



教授・ガラス作家 池本 一三

1954年京都府生。1978年京都市立芸術大学美術学部西洋画科卒1990年南オーストラリア大学の招待作家として、作品制作、講演を行う。ニューヨーク(2005年)、ピッツバーグ(2006年)のガラススタジオでワークショップをする。国内外の美術館及びギャラリーにて発表活動をしている。



教授・ガラス作家 馬越 寿

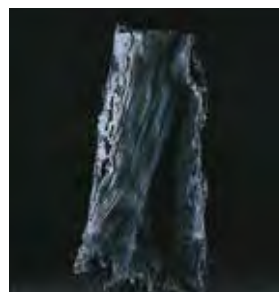
1992年多摩美術大学クラフトデザイン専修(ガラス)卒業。在学中より、宙吹きにより造られたガラスを様々な手段を用いて切削し時には着色を施すことにより、「透明であること」と「表面があること」との両方あるいは按配の追求に取り組む。作り手がどんなアプローチをするかによって様々な表情を魅せてくれるのがガラスの魅力と思っています。

金属プログラム



教授・鍛金作家 手銭 吾郎

1994年東京藝術大学大学院鍛金修了。同研究室助手～講師として勤務する中、籠絞り技法と出会う。2006年文化庁芸術家在外研修で英国に1年間滞在。金属工芸における様々な地域・文化・素材(金属)・造形・技法が人を繋げている事にとても魅力を感じています。



准教授・金属造形家 留守 玲

素材に起きていることを自分なりに解釈しようとする中で、発見の喜びを知りました。この工芸体験は、今も身の回りの様々な事にあたるときの勇気に繋がっています。1976年宮城県生まれ。2002年多摩美術大学大学院修了。2003年第11回日本現代美術奨励賞など。

客員教授 (五十音順)



関井 一夫
(鍛金作家)



武田 厚
(美術評論家・日本ガラス工芸学会理事)



八田 雅博
(アーティスト・プランナー)



藤田 政利
(鍛金造形家)



ルパート・フォークナー
(V&A 博物館名誉フェロー・元日本美術担当上席学芸員)

非常勤講師 (五十音順)



糸賀 英恵
(金工作家)



内田 望
(金属造形作家)



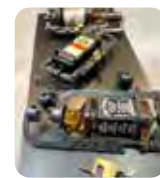
大谷 友花
(アーティスト・デザイナー)



川越 一日
(アートディレクター・グラフィックデザイナー)



木越 あい
(ガラス作家)



小林 淳一郎
(金属造形作家)



佐々木 史恵
(ジュエリー作家)



佐々木 類
(ガラス作家)



佐藤 典克
(陶芸家)



澤田 将哉
(アーティスト・エドゥケーター)



鈴木 仁子
(陶芸・ジュエリー作家)



田中 雅樹
(ガラス作家)



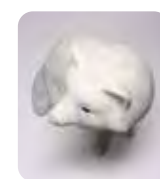
田村 悠
(ガラス作家)



花塚 愛
(陶作家)



林 茂樹
(陶造形作家)



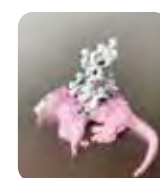
林 麻依子
(陶作家)



森田 春菜
(陶作家)



山本 麻世
(美術家)



湯口 萌香
(美術家)



横山 翔平
(ガラス作家)



主な設備

Facilities

ガラス

溶解炉 200kg
グローリー
徐冷炉
電気炉 200V、100V
ハット式キルン
平盤研磨機
縦盤研磨機
ウォーターサンダー
大型ダイヤモンドソー
小割り切断機
サンドブラスト機
直圧式サンドブラスト機
バーナーワーク用バーナー（エア/酸素）
グラヴィール機
版画用プレス機
ボール盤

陶

電気窯 *6 ~ 50kw
ガス窯 *1.0㎡
ガス窯 *1.5㎡
移動式楽焼ガス窯
パワーリフター
ホイストクレーン (1.5t)
常圧式土練機
循環式土練機
コンプレッサー
釉薬集塵装置
攪拌機
乾湿両用掃除機
電動ロクロ
ポットミル機 *各サイズ
*窯にプログラムコントローラー設置

金属

被覆アーク溶接機
TIG溶接機
MAG溶接機
エアプラズマ切断機
ドイツ製エアハンマー
重油炉
ガス炉
コークス炉
アクアウェルダ
シャーリングマシーン
コンタマシーン
ホイストクレーン (1.5t)
TSL型金属旋盤
万能板金折曲機
サンドブラスト
焼鈍バーナー



<http://www.tamabi.ac.jp/kougai/>

*入試に関する詳細は、募集要項・
ホームページをご覧ください。

多摩美術大学 美術学部 工芸学科

〒192-0375 東京都八王子市鎌水2-1723 電話 042-676-8611(代表)

〈資料請求先〉多摩美術大学 入学センター 〒192-0375 東京都八王子市鎌水2-1723

電話 042-676-5601 ファックス 042-676-2635 E-mail nyushi@tamabi.ac.jp



Tama Art University

